

発行所 静岡県高等学校障害児学校教職員組合 静岡市葵区駿府町1-12 高教組新聞編集委員会 http://www.s-koukyouso.jp/ e-Mail info@s-koukyouso.jp TEL (054) 254-6900 FAX (054) 254-0814

第425号 2017年 9月20日

高教組しんぶんは組合費とカンパによって発行されており、全教職員に配布しています

教え子を再び 戦場に送るな

2面 ・全国教育のつどい ・障害児学校の現場から



主張

8月29日、中教審の特別部会は「タイムカードを導入して教員の出勤管理を徹底する」「部活動休養日の適切な設定」「長期休業中の学校閉庁日の設定」などの内容を盛り込んだ「学校における働き方改革に係る緊急提言」を発表しました。さて、その実効性は？

県内では賃金リンクを前提とした「教職員人事評価制度」の新たな評価シートの試行（一部管理職には「もう賃金リンクが始まる」との誤解もあるようですが）が10月に始まり、17年度末に終了とされている現給保障額を突破するのは若年層に限られています。

中教審「働き方改革に係る緊急提言」の実効性は

成果を、個人に帰する制度設計は困難である」として、その実施を見送っているケースもありません。さらには「現場活性化を意図して

4年連続の改善勧告 一時金0.1月引き上げ4.40月に

人事院は8月8日、国家公務員一般職の賃金等について「631円、0.15%」の官民較差にもとづき、月例給改定、一時金の0.1月引き上げなどを内容とする勧告・報告を行いました。4年連続となる引き上げ勧告となりますが、給与制度の総合的見直しにより実質的な引き上げは若年層に限られ、公務労働者の生活改善にはほど遠く不満な内容です。

若年層に 1000円配分 0.1月は 勤勉手当に充当

月例給の較差分は、初任給層に1000円（教育職1200円）配分するとともに30歳程度までの若年層にも同程度の改定を行うとしました。それ以外の号俸についても再任用職員を含めて400円引き上げとされていますが、改定額は少額であり、17年度末に終了とされている現給保障額を突破するのは若年層に限られています。

定年延長退職手当

定年延長に関し、政府は鋭意検討するとし、「早ければ、来年の通常国会に法案提出、19年度から施行をめざす」と伝えられました。

配偶者に関わる 扶養手当

人事院は昨年、配偶者に関する扶養手当について、「女性の社会進出を妨げている要因」とする安倍政権の意向を受け、2年間で半減（6500円）し、子の扶養手当をその引き下げ分を原資として6500円から10000円に引き上げるとの勧告を行いました。本県人事委員会は勧告せず、昨年は子の扶養手当の改善のみを行いました。一方、「認識は人事院と一致」とも回答しており、今年度削減を許さないとくみは大きな課題となります。

勤務条件改善署名にご協力ください

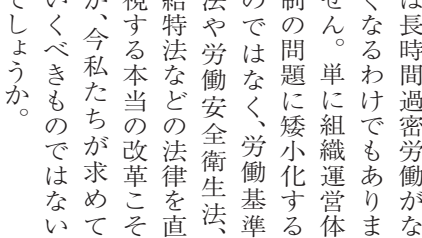
高教組は、県人事委員会に要求書を提出、交渉、実施しています。教職員の専門性や業務量等に見合う適正な給与水準を確保することや多忙化解消の実効策、部活動問題、臨時教職員の勤務条件改善などを重点にとりくみを強めます。

高校生・若者の修学 進路の保障を求めて

東海地域の高等学校教職員組合は、毎年共同で各県の教育委員会に対し就職シーズンの時期に高校生・青年の修学・進路の保障を求める要請書を提出、要請行動を行っています。

東海キャラバン

岡山県にしたい「グローバルに活躍できる人材育成、海外派遣、インターンシップの充実などの施策をすすめている」ことなどを示し、要請には共通の思いを持っていただきたいと思います。



9.13 人事委員長交渉



東海キャラバン

視座

夏も終わり、いよいよ新学期、忙しくなってきました。時間も自由も奪われ、イライラすることも。そんな時、思い出す言葉。「課題の分離」。ここまでは私の課題、ここからはあなたの課題と分離するんです。たとえば進路指導、進路先の情報を与えるのが教師の課題、進路先を選ぶのは生徒の課題、と課題を分離しないと、多忙になるだけでなく、人間関係も崩れます。「課題の分離」はアドラー心理学のキーワードの一つ。よりかかるのではなく、よりそう関係を目指すのです。生徒の課題を教師がこなしてしまつたら、生徒が自ら成長する機会まで奪いかねません。さて、イギリスの「教師の仕事ではないものリスト」から、いくつか抜粋してみました。集金業務、欠席した生徒を探すこと、ただ写すだけのタイピング、クラス名簿作成、教室の飾り付け、試験結果処理、レポートの校正、職業体験の指揮、試験監督、電子機器のトラブル対処、新しい機器の注文、用具リスト作成、用具の準備維持、議事録作成、入札業務、生徒のデータ管理など。これらすべて、日本では教師が行っていることに驚きます。どこまでが教師の仕事なのか、こちらの「課題の分離」も急がなくてはならないでしょう。

みんなで21世紀の未来をつくる 教育のつどい 2017 — 教育研究全国集会 — in 岡山



8月18日(金)から20日(日)の3日間、岡山で教育のつどいがおこなわれました。3日間で約5000人の保護者・市民・教職員が集まり、静岡高教組からも4人のレポーターを含めて13人が参加しました。

「晴れの国」岡山は、自民党は「改憲」して「自己責任と家族の責任」の国にしたいらしいが、安婦を学んでいる。被害者から直接話を聞き、8万円を支給し、労働者には6週間の有給休暇を保障。「変わった国」なのではなく、日本が「野蠻な国」なのだ。

教師が学校で燃え尽きていたのでは無責任

「あなたは決して一人ではありません。子ども食堂でもテーブルを囲んでくれる。学校でわからなかった勉強を教えてください。人が必ずいます。」という安倍晋三首相のメッセージに対して、「おまえが何もしないからボランティアがやってくるんだよ」という批判が殺到。

伝えたいから学ぶ

「戦争だからしかたがなかったが、石川氏のお話から、教師の姿を学ぶことができました。」



教師は「自分という人間を使って子どもたちに働きかける」職

「おかしいことをおかししいと言える学年、学校づくり、思い込みを越えて子どもの意見をどれだけ学校づくりに取り込めるか。いっしょにつくる取り組みが求められている。」

「福島の中学生が自ら体験した震災をあらためて語り始めることで、自分に何ができるかを考えるようになり、荒れが劇的に収まっていった。」

特別支援教育の現場から ②

「わかっていないはず」「できるはず」「わかるように」「できるように」ではなく

発達障害の子への支援

発達障害といっても様々です。今回はその中で注意欠陥多動障害(ADHD)について述べます。この障害の特性は、注意を集中し持続することが苦手です。そのため指示を聞き逃したり、他の刺激によって意識がそれやすく、その結果ミスをしたり課題をやり遂げられないことがよくあります。

発達障害の子への支援として、内容が本人が分かりやすいよう工夫します。課題の内容や活動の量も工夫します。最も後までやり遂げられる成功体験を得られるようにします。

高校生が主催者に 藤枝市平和展 青春の鼓動

8月5日(土)6日(日)に、藤枝市生涯学習センターで、第39回藤枝市平和展を行いました。今年是非核平和都市宣言30周年、あらためて「核兵器も原爆もない平和な世界を！」の訴えに力が入りました。5日には三上智恵監督の「戦場ぬすみ」底抜けに明るく温かくへこたれずに基地をなくす運動をする沖繩の人たちが描かれていました。

6日は、「青春の鼓動 平和だからこそ」。高校生が主催者になり、3回の会議を経て、「虹の橋を架けよう平和の願いを込めて」と企画運営しました。金谷高校書道部の大書、藤枝東高校のバンド演奏、藤枝北高校演劇部の朗読劇、ブラ




「うつつヌケ」 うつつネルを抜けた人たち

田中圭一著 出版社 KADOKAWA

話題の本を読む ①

「うつつ」は誤解されやすい病だ。たとえば、「ストレス耐性」という言葉。「うつつ」になった人はその耐性がないうつた存在という意味にもとれる。しかし、それが誤解であるというところをこのマンガ本は教えてくれる。

この本は現在「うつつ」と戦っている人には不向きかもしれない。あまりの楽天的で単純すぎることに、苛つくと思うかもしれない。「うつつ」という病の暗さをできるだけ明るくするための筆者の気配りだとは思われる。

しかし、本人の家族、同僚には「うつつ」を理解することへの入り口にはなる本だ。内容は、著者本人、無名の人から、宮内悠介ら小説家、哲学研究者内田樹ら17人の経験談をまとめたものだ。「うつつ」は人ごとに違う形で出現し、また違う形で回復していく。

発行部数20万部というのは誇張気味だが、軽い感覚で読める「うつつ」入門書だと思おう。(Y)

